

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅 行 期 間	令和6年10月9日(水)～令和6年10月10日(木)					1泊2日	
旅 行 先	トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) (岩手県盛岡市内丸13-1)						
旅行者氏名	岡本禎稔、小川貴夫、古川美栄、村上誠、内藤浩、小川金一、 古川幸宏、山上勝由、真野尚功						
宿 泊 地	紫波グリーンホテル(岩手県紫波郡紫波町日詰西6丁目6-2)						
視察・研修 等 目 的	第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡に出席のため						
行 程	■10月9日(水) 渥美線 新幹線 新幹線 無料シャトルバス 田原 6:12 → 6:45 豊橋 7:09 → 8:42 東京 9:08 → 11:20 盛岡 → 会場 ホテル送迎 → ホテル ■10月10日(木) ホテル送迎 無料シャトルバス 新幹線 ホテル → 会場 → 12:50 盛岡 → 15:04 東京 15:27 新幹線 渥美線 → 17:35 豊橋 18:00 → 18:35 田原						
経路	旅 費						
別紙のとおり	鉄道賃	3	7	5	9	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当		3	6	0	0	0
	宿泊料	1	0	8	0	0	0
	研修費		8	1	0	0	0
	合 計	6	0	0	9	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

経路

■10月9日(木)

渥美線 三河田原駅→新豊橋駅 4,800円

(550円×7人=3,850円、村上議員 豊島駅→新豊橋駅 500円、
山上議員 やぐま台駅→新豊橋駅 450円)

新幹線(指定席、829.1km、JR601km以上利用する際の往復割適用)

豊橋駅→東京駅→盛岡駅 20,350円※×9人=183,150円

※運賃 10,190円(11,330円×割引0.9、1円単位切捨て) + 特急券 10,160円(通常期料金)

無料シャトルバス 盛岡駅→会場

ホテル送迎 会場→ホテル

■10月10日(木)

ホテル送迎 ホテル→会場

無料シャトルバス 会場→盛岡駅

新幹線(指定席、829.1km、JR601km以上利用する際の往復割適用)

盛岡駅→東京駅→豊橋駅 20,350円※×9人=183,150円

※運賃 10,190円(11,330円×割引0.9、1円単位切捨て) + 特急券 10,160円(通常期料金)

渥美線 新豊橋駅→三河田原駅 4,800円

(550円×7人=3,850円、村上議員 豊島駅→新豊橋駅 500円、
山上議員 やぐま台駅→新豊橋駅 450円)

鉄道賃 375,900円

日当 移動日 2,000円×2日×9人=36,000円

宿泊料 12,000円×9人=108,000円

研修費 9,000円×9人=81,000円

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

岡本禎稔 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催(盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年10月2日

小川貴夫 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催(盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

古川美栄 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

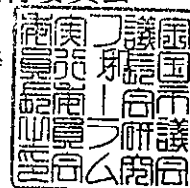
村上誠 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

内藤浩 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

小川金一 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

古川幸宏 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

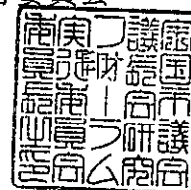
山上勝由 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月25日

真野尚功 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

視察・研修等報告書

令和 6 年 12 月 27 日

田原市議会議長 殿

会派名：自由民主党田原市議団

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	村上誠	経 理 責任者	古川幸宏
期 間	令和 6 年 10 月 9 日（水）～令和 6 年 10 月 10 日（木）			
視 察 ・ 研 修 等 先	トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	第 19 回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡に出席のため			
参 加 議 員 名	別紙報告書のとおり			
視 察 先 等 面 会 者	別紙報告書のとおり			
概要及び所見	別紙報告書のとおり			

「別紙」

全国市議会議長会研究フォーラム報告書

【会議開催内容】

開催日：令和6年10月9日(水)・10日(木)

会場：トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)

会議名：第19回全国市議会議長会研究フォーラム

主催：全国市議会議長会 後援：総務省

テーマ：主権者教育の新たな展開

参加者：岡本禎稔、小川貴夫、古川美栄、村上誠、内藤浩、小川金一
古川幸宏、山上勝由、真野尚功

【概要】

10月9日(水)と10月10日(木)の両日、トーサイクラシックホール(岩手県民会館)において第19回全国市議会議長会研究フォーラムが開催され参加した。

このフォーラムは、全国市議会議長会が主催しており、全国から正副議長をはじめとする市議会議員等の2,300名余の方々が参加した。

10月9日(水)には、主催者あいさつに続き、今回のテーマである「地方議会の課題と主権者教育」、このテーマのコーディネーターは、井柳美紀(静岡大学人文社会科学部法学科教授)をはじめ、パネリストに土山希美枝(法政大学法学部教授)、越智大貴(WONDER EDUCATION代表理事)、渡辺嘉久(読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局)、そして、遠藤政幸(盛岡市議会議長)が参加して実施した。

翌10月10日(木)には、「主権者教育の取組報告」として、コーディネーターに河村和徳(東北大学大学院情報科学研究科准教授)が行い、事例報告者として白鳥敏明(伊那市議会前議長)、諸岡覚(四日市議会議員)、服部香代(山鹿市議会議長)が課題討議が実施された。

【日程別研修内容】

【10月9日】

・パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」

コーディネーター 井柳美紀(静岡大学人文社会科学部法学科教授)

パネリスト 土山希美枝(法政大学法学部教授)

越智大貴(WONDER EDUCATION代表理事)

渡辺嘉久(読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局)

遠藤政幸(岩手県盛岡市議会議長)

【10月10日】

・課題討議 「主権者教育の取組報告」

コーディネーター 河村和徳(東北大学大学院情報科学研究科准教授)

事例報告者 白鳥敏明(長野県伊那市議会前議長)

諸岡 覚(三重県四日市市議会議員)

服部香代(熊本県山鹿市議会議長)

【10月9日】パネルディスカッションの所見について

- 土山希美枝(法政大学法学部教授)のレクチャーは、高校生議会を「主権者教育」と安易に結びつける風潮への鋭い警鐘は興味深く、会場からも驚きの声が上がっていた。

議会が教育機関ではないこと、真の教育には専門性と綿密なプログラムが必要であることを明確に指摘し、「高校生議会」に再考を促すものだと感じた。特に、掲載記事内の「よくできる高校生を派遣してもらって、先生に手を入れてもらった作文を朗読してもらい、拍手して大人の立場からのコメントで締めるような機会にとどまるのであれば、それでどうして教え育てたと言えるだろうか。」という内容には考えさせられた。

土山氏は、今後の主権者教育を考える上で重要な視点を提供している。

- 土山希美枝(法政大学法学部教授)の「誰がための主権者教育」かについて強調されていた。

特に若者を含めた市民が政治参加を通じて、民主主義を支える力を養う必要性に共感した。現代社会における情報の氾濫や価値観の多様化により、市民が主権者として自覚を持ち続けることは容易ではない。

しかし、地域社会での教育や対話を通じて市民全員が政治の意義を理解し、積極的に関わる社会を目指すべきと強く感じた。

- 主権者教育の推進は、若者に対して教育として取り組むのではなく、若者と一緒に社会課題の解決に取り組む姿勢が大切である。

民主主義や選挙の必要性を、教えるのではなく、自分たちの意思決定でまちをつくることのできる体験をさせることで、主権者としての意識や行動を変えることになり、政治との距離を縮めることにつながる。

田原市議会も広聴活動として、中学生や高校生へのアプローチを検討すべき。

- 高校生議会に何かを求めることにより「若き市民の参加」の声をいかに受け止めて、議会として政策に取り入れることができるはず。このことができれば若き市民の政治や議会に対する信頼につながると思う。

【10月10日】課題討議 「主権者教育の取組報告」の所見について

- 若者が、政治や社会をどう捉えているのか、という問題は、議会からの役割として交流の機会を増やし「自分の意見が聞いてもらえる」「自分のアイデアが反映されるかも」と感じられる機会を増やすことが大事ではないか。
政治や社会に関心がないわけではないと思う、参加しても意味がないと考えているのではないか。
学校でリアルな政治が扱いやすいような環境が必要で、また、議員との交流の機会が持てればいいのではないかと思った。
- 取組報告で感じたのは、高校生の議会傍聴や意見交換会の開催を企画し、議会への関心を高めたり、高校生の声を執行部へ届け成果として表すことが大切だが、やはり新たな企画から実施まで行うには、全てコンセンサスが重要と感じた。
- 高校などへ出向いての意見交換や大学でのディスカッションなど、工夫した取組があった。
若者をひとくくりにしてしまうと、その中で影響の大きな者の意見に偏りがちになってしまうので、個々の若者と向き合うことにより、多様な意見を聞くことが必要である。
自分の意見を主張するだけの議員や、じっくり話を聞くタイプの議員などがあり、必ずしも一貫性のある意見交換にならなかったりするが、若者側に議員の多様性を知ってもらう機会になると、前向きに捉えていた。若者に対して主権者教育を行う場合、学校の協力体制を作ることが大切であり、そのためにはお互いの信頼関係を構築していかなければならない。
議会として主権者教育を行う場合、教育するということではなく、共に学びあうという姿勢で臨むべきである。
若者の意見を取り上げ、課題解決につなげることにより、「社会って変えられるんだ」という体験ができるような体制づくりが必要である。
- 地方議会の現状と課題で、主権者教育の重要性が強調され、教育を通じて市民の政治参加を促進する方法が議論された。各地の議会で行われている主権者教育の事例報告から、今後の地方自治の在り方の中で重要なポイントは、地方自治の根幹をなす地域住民がいかに政治に関心に向け主権者として関わっていけるかが重要である。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏			
旅 行 期 間	令和6年10月17日(木)～令和6年10月18日(金)			1泊2日			
旅 行 先	アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター) (兵庫県姫路市神屋町143-2)						
旅行者氏名	中神靖典、岡本禎稔、古川美栄、村上誠、内藤喜久枝、小川金一、 古川幸宏、中野哲伸、山上勝由、真野尚功						
宿 泊 地	東横INN相生駅新幹線口(兵庫県相生市本郷町2-17)						
視察・研修 等 目 的	第86回全国都市問題会議に出席のため						
行 程	■10月17日(木) 渥美線 新幹線 新幹線 徒歩 田原 6:00 → 6:31 豊橋 6:40 → 7:04 名古屋 7:26 → 8:49 姫路 → 徒歩 JR山陽本線 徒歩 会場 → 姫路 → 相生 → ホテル ■10月18日(金) 徒歩 JR山陽本線 徒歩 徒歩 新幹線 ホテル → 相生 → 姫路 → 会場 → 13:59 姫路 → 新幹線 渥美線 15:19 名古屋 15:38 → 16:04 豊橋 16:15 → 16:50 田原						
経路	旅 費						
別紙のとおり	鉄道賃	2	3	6	1	0	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当		4	0	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0	0
	研修費	1	3	0	0	0	0
	合 計	5	2	6	1	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

経路

■10月17日(木)

渥美線 三河田原駅→新豊橋駅 5,350円

(550円×8人=4,400円、村上議員 豊島駅→新豊橋駅 500円、

山上議員 やぐま台駅→新豊橋駅 450円)

新幹線 豊橋駅→姫路駅(指定席、350.7km)

10,750円※×10人=107,500円

※運賃 6,050円+特急券 4,700円(通常期料金)

徒歩 姫路駅⇄会場

JR 姫路駅→相生駅 420円×10人=4,200円

徒歩 相生駅→ホテル

■10月18日(金)

徒歩 ホテル→相生駅

JR 相生駅→姫路駅 420円×10人=4,200円

徒歩 姫路駅⇄会場

新幹線 姫路駅→豊橋駅(指定席、350.7km)

10,950円※×10人=109,500円

※運賃 6,050円+特急券 4,900円(繁忙期料金)

渥美線 新豊橋駅→三河田原駅 5,350円

(550円×8人=4,400円、村上議員 豊島駅→新豊橋駅 500円、

山上議員 やぐま台駅→新豊橋駅 450円)

鉄道賃 236,100円

日当 移動日 2,000円×2日×10人=40,000円

宿泊料 12,000円×10人=120,000円

研修費 13,000円×10人=130,000円

会議参加費 領収書

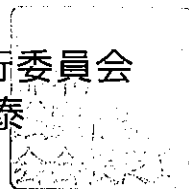
中 神 靖 典 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10 月 17 日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会 長 清 元 秀 泰



会議参加費 領収書

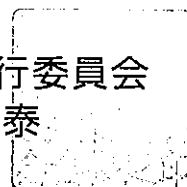
岡 本 禎 稔 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10 月 17 日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会 長 清 元 秀 泰



会議参加費 領収書

古 川 美 栄 様

金 13,000円

但、「第 86 回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和 6 年 10 月 17 日

第 86 回全国都市問題会議実行委員会
会 長 清 元 秀 泰



会議参加費 領収書

村 上 誠 様

金 13,000円

但、「第 86 回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和 6 年 10 月 17 日

第 86 回全国都市問題会議実行委員会
会 長 清 元 秀 泰



会議参加費 領収書

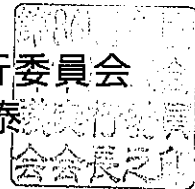
内藤喜久枝 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元秀泰



会議参加費 領収書

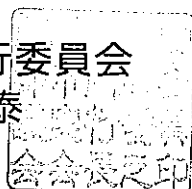
小川金一 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元秀泰



会議参加費 領収書

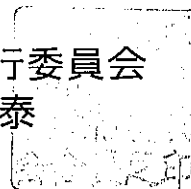
古川 幸宏 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10 月 17 日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会 長 清 元 秀 泰



会議参加費 領収書

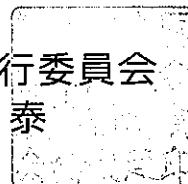
中野 哲伸 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10 月 17 日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会 長 清 元 秀 泰



会議参加費 領収書

山上勝由 様

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元秀泰



自由民主党

田原市議団
真野尚功

様

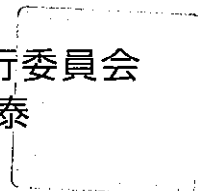
会議参加費 領収書

金 13,000円

但、「第86回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和6年 10月 17日

第86回全国都市問題会議実行委員会
会長 清元秀泰



視察・研修等報告書

令和6年12月27日

田原市議会議長 殿

会派名：自由民主党田原市議団

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	村上誠	経理 責任者	古川幸宏
期 間	令和6年10月17日（木）～令和6年10月18日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	アクリエひめじ（兵庫県姫路市文化コンベンションセンター）			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	第86回全国都市問題会議に出席のため			
参 加 議 員 名	別紙報告書のとおり			
視 察 先 等 面 会 者	別紙報告書のとおり			
概要及び所見	別紙報告書のとおり			

「別紙」

全国都市問題会議報告書

【会議開催内容】

開催日：令和6年10月17日(木)・18日(金)

会場：アクリエひめじ(兵庫県姫路市文化コンベンションセンター)

会議名：第86回全国都市問題会議

主催：全国市長会等

テーマ：健康づくりとまちづくり

～市民の一生に寄り添う都市政策～

参加者：中神靖典、岡本禎稔、古川美栄、村上誠、内藤喜久枝、小川金一
古川幸宏、中野哲伸、山上勝由、真野尚功

【概要】

10月17日(木)と10月18日(金)の両日、アクリエひめじ(兵庫県姫路市文化コンベンションセンター)において第86回全国都市問題会議が開催された。

今回の会議は、「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」をテーマに全国市長会等の共催で1,700名余の参加者があった。

10月17日(木)は、主催者のあいさつに続き、基調講演として、福岡伸一(生物学者：青山学院大学教授)生命を捉えなおす、～動的平衡の視点から～の話があった。

その後、主報告として、市民の「LIFE」(命・暮らし・一生)を守り支える姫路の健康づくりとまちづくりとして清元秀泰(兵庫県姫路市長)。そして、一般報告として、生き物から学ぶ健康なまちづくりとして、谷口守(筑波大学システム情報系教授)。都市そのものを健康にするまちづくり井崎義治(千葉県流山市長)。

最後にIT/AIの健康分野への適用例として、畑豊(兵庫県立大学副学長)の話があった。

2日目は、宮本太郎(中央大学法学部教授)をコーディネーターとして、「健康づくりとまちづくり」をテーマに、パネリストとして、三木崇弘(高岡病院児童精神科医)、奥村圭子(NPO 法人日本栄養パトネット理事長)、今井敦(長野県茅野市長)、南出賢一(大阪府大津市長)が参加して行われた。

【日程別研修内容】

【10月17日】

- ・基調講演 生命を捉えなおす ～動的平衡の視点から～
福岡伸一(生物学者：青山学院大学教授)
- ・主報告 市民の「LIFE」(命・暮らし・一生)を守り支える
姫路の健康づくりとまちづくり
清元秀泰(兵庫県姫路市長)
- ・一般報告 生き物から学ぶ健康なまちづくり
谷口 守(筑波大学システム情報系教授)
- 都市そのものを健康にするまちづくり
井崎義治(千葉県流山市長)

I T/A I の健康分野への適用例

畑 豊 (兵庫県立大学副学長)

【10月18日】

- ・パネルディスカッション「健康づくりとまちづくり」
～市民の一生に寄り添う都市政策～
コーディネーター 宮本太郎(中央大学法学部教授)
パネリスト 三木崇弘(高岡病院児童精神科医)
奥村圭子(NPO 法人日本栄養パトネット理事長)
今井 敦(長野県茅野市長)
南出賢一(大阪府泉大津市長)

【10月17日】基調講演・主報告・一般報告の所見について

- 人口減少社会に突入し、出生率の低下が続くなか、未来の創り手となる子どもたちがすくすくと成長するためには、ライフステージに応じた健康づくりを幼少期から継続的に支援していくことが極めて重要ではないか。
市民の健康づくりを促進するためには、市民の健康状態を把握し、改善・自立を促すだけではなく、市民自らが健康増進に資する活動へ積極的に参画するとともに、日々の生活を送る中で自然と健康になれるような社会環境を構築していく必要がある。

- 生き物から学ぶ健康なまちづくり、都市そのものを健康にするまちづくりなどが提案された。

動的平衡とは、私たちの体を構成する分子は常に入れかわっており、古い分子が排出され、新しい分子が取り込まれることで生命体として形を保もっている。

動的平衡の視点から見た生命の特徴として、①絶え間ない変化と更新②環境との相互作用③自己修復と適応④一時的な存在を持つ。

動的平衡の概念は、生命を固定されたものでなく、絶えず変化し続ける動的な存在として捉える新しい視点を提供しており、生命とは流れの中でバランス保ちながら存在する一時的な現象であると言える。

- 「生命は、エントロピー増大に抗っている。また、壊されるように創られている。」と福岡伸一教授は言われ、自らを積極的に壊し続けることにより、またそれを創りなおすことでバランスを保ち、生命維持していくことができるとしている。

私たち人間も、皮膚・血液・骨等の細胞は、破壊と増殖を繰り返して体が維持され健康を保つことができる。また、そのための努力を続けている。

同じようにこれからのまちづくりを考えたとき、まちの健康を考えれば、まちの建築様式や考え方等を、柔軟に考え、少しずつ変化しながら新しく変えるものと、外観は変えず残し補強していくものを、見極めていくことが求められている。

- 健康なまちづくりの在り方を、生き物から学ぶというのは、有効であるとともにシステムのにもユニークな考え方であり、興味をひく。

人間と同じように都市も健康な時も病気の時もある。例えとして、都市には、交通ネットワークがあり、人間には血管のネットワークがある。

また、必要以上に拡大した街は、都市サービスにコストがかかる。人間の肥満は、万病の元という。健康であるがゆえのこと。

健康なまちづくりは、健康状態を維持するか、それが健康なまちづくりであり、健康な市民づくり、まちの発展に結びつくものである。

- 都市そのものを健康にするという考え方は、従来のインフラや住環境の改善だけでなく、ストレスの軽減やリフレッシュできる環境づくりを重視している点が特徴的であった。

Well-being とは、身体的、精神的、社会的に満たされた良好な状態を意味し、個人が人生に満足し、幸福感や充実感を感じることを重視する。本市のまちづくりにおいては、ウォーキングのような取組のさらなる充実が必要かも知れない。

- 「生き物から学ぶ健康なまちづくり」では、日本の都市が病気に例えられ生き物と都市の共通点が強調された。

都市も生き物と同様に成長し、新陳代謝や怪我、生活習慣病、老化、擬態、共生、絶滅などの段階があるという。

元気で活力ある都市は、健康な生命体として投影することができる。

このような視点で街を捉える考察もあることを学んだ。

- 姫路市は今回のテーマである健康づくりとまちづくりに合ったまちと感じた。姫路城というシンボルがあるためそこに向かって歩こうという意欲が湧きやすい。駅を出て大通りが一直線に伸びその先に見える姫路城は圧巻だった。

本市においても、田原城址を中心に周りの地域を一体化（壁、塀などを白壁などに統一）しまちを散策、歩いてもらう試みがあつたと記憶しているが、成功しているとは思わない。

ハード面である看板や塀などは出来ているが、ソフト面の根付き、活用が課題だと思う。

今までは公共交通での移動ばかり考えていたが、「歩く」ウォーカブルなまちづくり、わざと歩かせる事において健康と結びつけるのは良いと思った。車での移動では道中ちょっと寄るのは難しいが、歩き、自転車などであればちょっと寄ることが可能になり、何とか横丁とか商店街のようなものも可能になるのではと感じた。

- 市民の「LIFE（命・くらし・一生）を守り支える姫路の健康づくりとまちづくり」では、姫路市の健診データ解析と歌唱による誤嚥予防という2つの興味深いテーマを扱っていた。

まず、健診データ解析では、ファジィ論理を用いることで、健康状態をより分かりやすく可視化できる点が画期的だと感じた。特に、ファジィ統合検査指数の導入については、市民全体の健康状態を把握し、経年変化を追跡するのに有効な指標となる可能性を感じた。一方、歌唱による誤嚥予防については、高齢化社会における喫緊の課題解決に繋がる重要な取組のひとつであると感じた。

AI技術を用いた嚥下機能の自動計測は、客観的な評価を可能にし、歌唱の効果을裏付ける上で有効な手段となり得る可能性をも感じた。これらの取組は、市民の健康増進に寄与するだけでなく、健康寿命の延伸や医療費削減にも繋がる可能性を秘めているものと感じた。

【10月18日】パネルディスカッションの所見について

- 人間は自然の一部であることを前提に、健康とは何かを考えると、現代医療以外の選択肢や食と食を育む自然の大切さに行き着くという。
社会経済情勢が大きく変化する中、健康の分野だけでなく、あらゆる分野において課題にアプローチする取組が求められると思った。
- まちづくりを議論する時に枕詞のようにになっているのが少子高齢化で地域での現役世代と高齢化世代の比率は1対1に近づいている。
地域が持続可能になっていくためには、支える側と支えられる側を分けることでなく、また老若男女を問わず元気人口を増やしていくことが課題であると思った。
- 健康とは、病気や虚弱でないというだけでなく、肉体的、精神的、そして社会的に完全に良好な状態である。これは、病気や障がいを単一の病因で説明しようとするのではなく、心理社会的な要因も含めた複合的な要因が影響している考え方であるとしている。
健康とは、身体的健康の次にフォーカス(焦点、中心)していくべきは、人の関係性や暮らしにおける心理行動面が問題ではないかと思った。
- 健康寿命を伸ばすためには、病気になってから治療するだけでなく、病気になる前の対策に加え、一人一人が自分に合った健康づくりに主体的に取り組む気運の醸成が必要である。
そのために、市の健康づくり推進条例を制定し施行した。
そして、市の責務として「健康状態の見える化」「学びの場の充実」「食育の推進」「多様な選択肢の提供」を掲げ取り組むことを推進している。
本市においても「健康たはら21第2次計画」など取組はしているが、こうした効果について検証しているかと思う。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	村上 誠	経 理 責任者	古川 幸宏																																																								
旅 行 期 間	令和7年1月16日(木)～令和7年1月17日(金)			1泊2日																																																								
旅 行 先	リファレンス西新宿大京ビル (東京都新宿区西新宿7丁目21-3) 日本橋プラザビル(東京都中央区日本橋2-3-4)																																																											
旅行者氏名	古川 美栄																																																											
宿 泊 地	プレミアムホテル-CABIN-新宿(東京都新宿区歌舞伎町2-40-3)																																																											
視察・研修 等 目 的	交通空白と地域公共交通の役割①、②及び 地方議会議員特別セミナー「新しい地域づくりへの挑戦 農村振興のため に地方議会議員ができること」に出席のため																																																											
行 程	渥美線 新幹線 JR中央線 <1日目> 田原 6:28 → 7:01 豊橋 7:09 → 8:42 東京 8:51 → 徒歩 徒歩 9:04 新宿 → 9:15 会場 16:40 → ホテル 徒歩 地下鉄 徒歩 <2日目> ホテル → 西新宿 10:43 → 11:07 日本橋 → 徒歩 新幹線 渥美線 12:45 会場 17:30 → 東京 18:33 → 19:57 豊橋 20:15 → 20:50 田原																																																											
経路	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 10%;">旅</th> <th style="width: 10%;">費</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道賃</td> <td></td> <td>1</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>車 賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>航空賃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日 当</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td></td> <td>4</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>8</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					旅	費					鉄道賃		1	9	3	1	0	車 賃							航空賃							日 当			4	0	0	0	宿泊料		1	2	0	0	0	研修費		4	5	0	0	0	合 計		8	0	3	1	0
	旅	費																																																										
鉄道賃		1	9	3	1	0																																																						
車 賃																																																												
航空賃																																																												
日 当			4	0	0	0																																																						
宿泊料		1	2	0	0	0																																																						
研修費		4	5	0	0	0																																																						
合 計		8	0	3	1	0																																																						

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付) 30,000円

領収書金額 30,000円

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

2025 年 1 月 16 日

古川美栄

様

★ ￥30,000

但 1/16 10時～ 交通空白と地域公共交通の役割①
1/16 14時～ 交通空白と地域公共交通の役割②
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

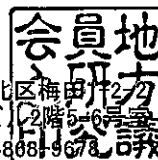
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-1

大阪駅前第2ビル2階5-6号

TEL 050-6868-9678



政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付) ~~15,154円~~

領収書金額	15,220円
-------	--------------------

15,000円

領収書貼付用紙No.	
------------	--

①	研究研修費
②	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収書は次項に添付

領 収 書

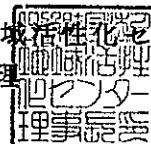
日付：令和6年12月18日
領収書番号：02192025-0004

古川 美栄

様



一般財団法人 地域活性化センター
理事長 林 崎 理



登録番号：T9010005002957

所在地：〒103-0027

東京都中央区日本橋2-3-4

日本橋プラザビル 13階

電話：03-5202-6134

金15,000円(税込)

但し、 セミナー参加費用 として

上正に領収いたしました

内訳

10%対象	15,000円
うち消費税	1,363円
不課税対象	0円

備考： セミナー名：令和6年度地方創生セミナー「地方議会議員特別セミナー
新しい地域づくりへの挑戦～農村振興のために地方議会議員ができること～」

視察・研修等報告書

7 年 1 月 20 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

		会 派 代表者	村上誠	経 理 責任者	古川幸宏
期 間	7 年 1 月 16 日（木）～ 7 年 1 月 17 日（金）				
視 察 ・ 研 修 等 先	地方議員研究会 IN 東京、地域活性化センター日本橋プラザビル				
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	交通空白解消セミナー、農村振興のために地方議会議員ができること				
参 加 議 員 名	古川美栄				
視 察 先 等 面 会 者	早稲田大学スマート社会技術融合研究機構客員准教授井原雄人 明治大学農学部小田切徳美 新潟県津南町桑原悠 総務省近藤寿喜				
概要及び所見	16 日 交通空白と地域公共交通の役割 多極ネットワーク型コンパクトシティ コンパクト+ネットワークによる地域づくり 住民バスの成功 移動手段としての価値だけでなく地域活性化や交流促進の価値が重要 運賃の決め方と地域の負担割合 利用者負担 運賃収入目標を想定する利用者数で割り運賃を決める 地域負担（社会保険） 運賃収入目標をサービスの適正な対価で割り目標利用者数を決める 自己負担と社会保険を地域で決める。 乗るのも、運転するのも、口を出すのも、お金を出すのもかわっていること。 目的を共有して本音で議論 乗る乗る・やるやる詐欺の撲滅 17 日 農村における「地域づくり」への挑戦 ー「にぎやかな過疎」を目指してー 関係人口→地域の中から刺激→貢献意識→ゴミ出しなどから納				

	税意識 人口減少問題には子育て支援が最重要？ 地球温暖化問題の考え方 緩和策＝脱炭素への接近 適応策＝高温体制品種の開発 *両者のバランスが重要 人口減少問題でも両者のバランスが重要 緩和策＝実質賃金の上昇、働き方改革、子育て支援 適応策＝人口減少傾向でも幸せに暮らし続ける方策 各地区が取り組んできた「地域づくり」 緩和策と適応策と対応策関係 適応策の成果がベビーブームを生み出す地域も 子育て支援は少子化対策の一部
--	--

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	鈴木 和基	経 理 責任者	中野 哲伸			
旅 行 期 間	令和7年1月29日(水)					0泊1日	
旅 行 先	リファレンス西新宿太京ビル (東京都新宿区西新宿7丁目21-3)						
旅行者氏名	内藤 喜久枝						
宿 泊 地	-						
視察・研修 等 目 的	・認知症基本法の理解のための研修 ・幸齢社会の実現のための研修～政府の議論の詳細把握～ 今後ますます増加する認知症対策の考え方、また田原市においても実行 できるような施策のための研修会に参加するため						
行 程	渥美線 新幹線 JR山手線 徒歩 田原 6:12 → 6:45 豊橋 7:09 → 8:34 品川 8:48 → 9:09 新宿 → 9:20 会場 16:45 → 16:55 新宿 16:59 → 17:20 品川 17:34 → 19:35 豊橋 19:45 → 20:20 田原						
経路	渥美線 三河田原駅⇔新豊橋駅 550円×2回=1,100円 新幹線、JR 豊橋駅⇔品川駅⇔新宿駅 (新幹線:指定席、286.8km) 8,900円(閑散期料金)×2回=17,800円						
		旅 費					
		鉄道賃	1	8	9	0	0
		車 賃					
		航空賃					
		日 当		2	0	0	0
		宿泊料					
		研修費	3	0	0	0	0
		合 計	5	0	9	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

内藤喜久枝

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	30,000 円
-------	----------

(1)	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収証

2025 年 1 月 29 日

内藤喜久枝 様

★	¥30,000
---	---------

但 1/29 10時～ 認知症基本法解説
1/29 14時～ 『幸齢社会』実現会議
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

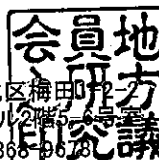
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-1

大阪駅前第2ビル2階5-5号室

TEL 050-6866-9678



視察・研修等報告書

令和 7 年 1 月 3 1 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 内藤喜久枝

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会 派 代表者	鈴木和基	経 理 責任者	中野哲伸
期 間	令和 7 年 1 月 2 9 日（水）			
視 察 ・ 研 修 等 先	東京都リファレンス西新宿大京ビル			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	認知症基本法の理解・幸齢社会の実現のための研修会 に出席するため			
参 加 議 員	内藤喜久枝			
視 察 先 等 面 会 者	講師 宮本正一氏			
概 要 及 び 所 見	・ 国の認知症施策を知り、今の市町村の動きを知る。認知症施策推進基本計画策定が閣議決定されたので、それを受け、各市町村計画が始まる。 ・ 自分の市はコンサルタントに丸投げするのではなく、市の担当者としてしっかり話し合い、地域の特性を生かし、提案するよう一般質問等を確認する。 ・ 認知症の基本的知識を、脳のモデル型を使用し解説し理解しやすかった。 ・ 国のデータは、しっかり分かりやすくできていししっかり読み込み、自分の市の資料を確認し、問題点・課題点を把握する。 ・ 認知症に限らず、当局への一般質問方法の組み立ての解説等もあった。 ・ 認知症を自分事と考える施策を、当局に働きかけることで市民にも理解してもらう。			